



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月28日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|--------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第1四半期 | 13,298 | — | 745 | — | 794 | — | 532 | — |
| 26年12月期第1四半期 | 12,355 | △11.4 | 685 | △48.1 | 720 | △47.4 | 435 | △46.6 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期第1四半期 | 18 83 | — |
| 26年12月期第1四半期 | 15 40 | — |

※当社は、平成26年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これに伴い、平成27年12月期第1四半期(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)と比較対象となる平成26年12月期第1四半期(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)の期間が異なるため、平成27年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年12月期第1四半期 | 94,119 | 80,271 | 85.3 |
| 26年12月期 | 92,550 | 80,225 | 86.7 |

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 80,271百万円 26年12月期 80,225百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | — | 20 00 | — | 20 00 | 40 00 |
| 27年12月期 | — | — | — | — | — |
| 27年12月期(予想) | — | 24 00 | — | 24 00 | 48 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|---|-------|---|-------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 63,000 | — | 5,500 | — | 5,600 | — | 3,500 | — | 123 68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2015年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 27年12月期1Q | 28,800,000株 | 26年12月期 | 28,800,000株 |
| 27年12月期1Q | 500,148株 | 26年12月期 | 500,068株 |
| 27年12月期1Q | 28,299,896株 | 26年12月期1Q | 28,300,185株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績 | 2 |
| (2) 財政状態 | 3 |
| (3) 研究開発活動 | 3 |
| (4) 業績予想などの将来予測情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

なお、前事業年度(平成26年12月期)は決算期変更により、平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間となっておりますので、参考として、前年同一期間である平成26年3月期事業年度(12ヶ月間)から平成26年3月期第3四半期累計期間(9ヶ月間)を差し引いた平成26年1月1日から平成26年3月31日までの3ヶ月間との比較を記載しております。

| | (参考) 平成26年1月～ 3月累計実績 | 平成27年12月期 第1四半期累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-------------|----------------------------|------------------------|--------|--------|
| 売上高(百万円) | 14,585 | 13,298 | △1,286 | △8.8% |
| 営業利益(百万円) | 1,001 | 745 | △256 | △25.6% |
| 経常利益(百万円) | 1,025 | 794 | △231 | △22.5% |
| 四半期純利益(百万円) | 974 | 532 | △441 | △45.3% |

売上高は、13,298百万円と前年同一期間に比べ1,286百万円(8.8%)減少しました。これは、前年同一期間に消費税増税前の一時的な需要増があったこと等によるものです。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、平成26年5月から販売しております「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が936百万円となりましたが、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は3,258百万円と前年同一期間に比べ1,148百万円(26.1%)減少したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は2,925百万円と前年同一期間に比べ562百万円(16.1%)減少しました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が減少したこと等により6,398百万円と前年同一期間に比べ410百万円(6.0%)減少し、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したこと等により6,154百万円と前年同一期間に比べ620百万円(9.2%)減少しました。

以上の結果、営業利益は745百万円と前年同一期間に比べ256百万円(25.6%)減少し、経常利益は794百万円と前年同一期間に比べ231百万円(22.5%)減少しました。四半期純利益につきましては、532百万円と前年同一期間に比べ441百万円(45.3%)減少しました。

なお、当社は、本年3月に、日本たばこ産業株式会社(以下「JT」)との間で、ギリアド・サイエンシズ社が創製し、JTが日本国内での独占的開発・商業化権を保有する核酸逆転写酵素阻害剤tenofovir alafenamide(TAF)を含む新規抗HIV薬2品について、JTが製造販売承認を取得した後、当社が日本国内において独占的に販売する契約を締結しました。(詳細は2015年3月2日公表のプレスリリースをご覧ください。)

また、本年3月、東レ株式会社(以下「東レ」)が製造販売承認を取得し、当社が日本国内において販売中の「レミッチカプセル」(以下「本剤」)について、東レが国内における慢性肝疾患患者におけるそう痒症(以下「新適応症」)を適応症とした効能追加申請を行ったことを受け、当社、JTおよび大日本住友製薬株式会社(以下「大日本住友製薬」)は、本剤の新適応症を対象としたプロモーションを大日本住友製薬が行うことに合意し、当社は大日本住友製薬との間で、本剤の新適応症を対象としたプロモーション契約を締結しました。(詳細は2015年3月3日公表のプレスリリースをご覧ください。)

当社は、「治療用ダニアレルゲンエキス皮下注「トリー」(減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬)」および「スクラッチダニアレルゲンエキス「トリー」(アレルゲン検査薬)」について、本年4月に販売を開始しました。平成26年10月に販売を開始した「シダトレン スギ花粉舌下液(減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬)」とあわせて、減感作療法(アレルゲン免疫療法)の普及に取り組んでまいります。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、94,119百万円と前事業年度末に比べ1,568百万円(1.7%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,145百万円、現金及び預金が1,816百万円、受取手形及び売掛金が1,504百万円減少しましたが、有価証券が4,896百万円、商品及び製品が1,758百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、13,847百万円と前事業年度末に比べ1,522百万円(12.4%)増加しました。これは、買掛金が1,505百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、80,271百万円と前事業年度末に比べ46百万円(0.1%)増加しました。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,119百万円であります。

なお、現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2015年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成27年2月4日「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前事業年度 (平成26年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日) |
|-----------------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,316 | 4,499 |
| キャッシュ・マネージメント・システム預託金 | 14,978 | 12,832 |
| 受取手形及び売掛金 | 25,901 | 24,397 |
| 有価証券 | 13,209 | 18,105 |
| 商品及び製品 | 6,630 | 8,389 |
| 仕掛品 | 594 | 628 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,911 | 3,043 |
| その他 | 1,579 | 1,881 |
| 流動資産合計 | 72,121 | 73,778 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 5,806 | 5,798 |
| 無形固定資産 | 818 | 882 |
| 投資その他の資産 | 13,803 | 13,659 |
| 固定資産合計 | 20,428 | 20,340 |
| 資産合計 | 92,550 | 94,119 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,095 | 7,601 |
| 未払法人税等 | 273 | 294 |
| 賞与引当金 | 694 | 1,324 |
| 役員賞与引当金 | 48 | 14 |
| 返品調整引当金 | 1 | 0 |
| その他 | 4,279 | 3,778 |
| 流動負債合計 | 11,391 | 13,013 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 173 | 196 |
| その他 | 759 | 637 |
| 固定負債合計 | 933 | 833 |
| 負債合計 | 12,324 | 13,847 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,190 | 5,190 |
| 資本剰余金 | 6,416 | 6,416 |
| 利益剰余金 | 69,102 | 69,069 |
| 自己株式 | △861 | △861 |
| 株主資本合計 | 79,847 | 79,814 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 377 | 457 |
| 評価・換算差額等合計 | 377 | 457 |
| 純資産合計 | 80,225 | 80,271 |
| 負債純資産合計 | 92,550 | 94,119 |

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 12,355 | 13,298 |
| 売上原価 | 5,702 | 6,398 |
| 売上総利益 | 6,652 | 6,899 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売促進費 | 980 | 1,054 |
| 給料及び手当 | 1,236 | 1,279 |
| 賞与引当金繰入額 | 551 | 551 |
| 研究開発費 | 1,141 | 1,119 |
| その他 | 2,055 | 2,150 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,966 | 6,154 |
| 営業利益 | 685 | 745 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 20 | 20 |
| 受取配当金 | 8 | 0 |
| 為替差益 | 2 | 18 |
| その他 | 5 | 11 |
| 営業外収益合計 | 37 | 51 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| その他 | 2 | 2 |
| 営業外費用合計 | 2 | 2 |
| 経常利益 | 720 | 794 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3 | 0 |
| 特別損失合計 | 3 | 0 |
| 税引前四半期純利益 | 716 | 793 |
| 法人税等 | 280 | 260 |
| 四半期純利益 | 435 | 532 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

該当事項はありません。

2015年12月期 第1四半期決算 参考資料

| | |
|----------------------|------|
| I サマリー情報 | P.1 |
| ① 経営成績 | P.1 |
| ② 財政状態 | P.1 |
| II 2015年12月期 第1四半期実績 | P.2 |
| ① 四半期損益計算書 | P.2 |
| ② 製商品別売上高 | P.4 |
| ③ 四半期貸借対照表 | P.5 |
| ④ 設備投資の状況 | P.6 |
| ⑤ 非資金項目 | P.6 |
| ⑥ 研究開発の状況 | P.6 |
| III 2015年12月期 業績予想 | P.7 |
| ① 損益計算書 | P.7 |
| ② 製商品別売上高 | P.9 |
| ③ 設備投資の状況 | P.10 |
| ④ 非資金項目 | P.10 |
| ⑤ 配当 | P.10 |
| 【将来に関する記述等についてのご注意】 | P.10 |

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2015年4月28日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

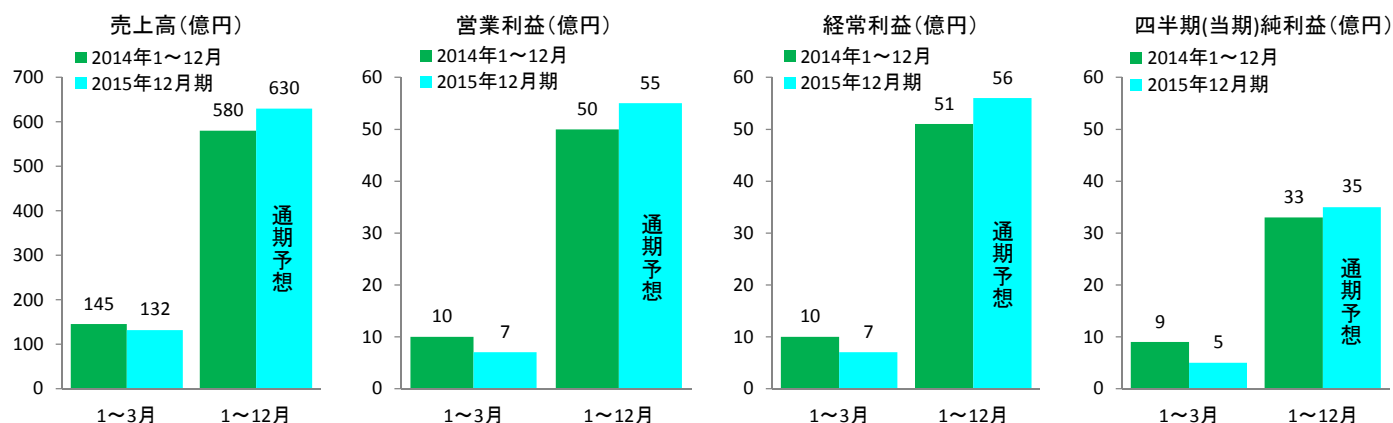
① 経営成績

| (単位:百万円) | 2014年 1~3月 A | 2015年12月期 第1四半期 B | 増減 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A | 2014年 1~12月 | 2015年12月期 通期予想 C | 対予想 進捗率(%) B/C |
|------------|--------------------|-------------------------|-----------|-----------------------|----------------|------------------------|----------------------|
| 売上高 | 14,585 | 13,298 | △1,286 | △8.8 | 58,089 | 63,000 | 21.1 |
| 営業利益 | 1,001 | 745 | △256 | △25.6 | 5,033 | 5,500 | 13.6 |
| 経常利益 | 1,025 | 794 | △231 | △22.5 | 5,168 | 5,600 | 14.2 |
| 四半期(当期)純利益 | 974 | 532 | △441 | △45.3 | 3,394 | 3,500 | 15.2 |

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年3月31日までの3ヶ月間の数値（計算方法はP.2を参照）を記載しております。また、2015年12月期通期予想との比較として2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月間の数値（計算方法はP.7を参照）を記載しております。

(参考)

| | | | | | | | |
|--------------------------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|------|
| 研究開発費 | 1,478 | 1,119 | △359 | △24.3 | 4,878 | 4,530 | 24.7 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益(EPS) (円) | 34.44 | 18.83 | △15.61 | | 119.94 | 123.68 | |
| 自己資本四半期(当期)純利益率(ROE) (%) | 1.2 | 0.7 | △0.5 | | 4.3 | - | |
| 総資産経常利益率 (%) | 1.1 | 0.9 | △0.2 | | 5.6 | - | |
| 売上高営業利益率 (%) | 6.9 | 5.6 | △1.3 | | 8.7 | - | |
| 総資産四半期(当期)純利益率(ROA) (%) | 1.1 | 0.6 | △0.5 | | 3.7 | - | |



② 財政状態

| (単位:百万円) | 2014年12月期 A | 2015年12月期 第1四半期 B | 増減 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|-------------------|----------------|-------------------------|-----------|-----------------------|
| 総資産 | 92,550 | 94,119 | 1,568 | 1.7 |
| 純資産 | 80,225 | 80,271 | 46 | 0.1 |
| 自己資本比率 (%) | 86.7 | 85.3 | △1.4 | |
| 1株当たり純資産(BPS) (円) | 2,834.82 | 2,836.46 | 1.64 | |

Ⅱ 2015年12月期 第1四半期実績

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しておりますので、当期実績の比較として「2014年1～3月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

① 四半期損益計算書

| (単位:百万円) | 2014年 | 2015年12月期 | 増減額 | 増減率 (%) |
|--------------|--------|-----------|--------|------------|
| | 1～3月 | 第1四半期 | | |
| | A | B | B-A | (B-A)/A |
| 売上高 | 14,585 | 13,298 | △1,286 | △8.8 |
| 製商品売上高 | 14,529 | 13,241 | △1,288 | △8.9 |
| 腎・透析領域 | 6,130 | 5,717 | △412 | △6.7 |
| 皮膚・アレルギー領域 | 2,851 | 2,543 | △307 | △10.8 |
| HIV領域 | 4,106 | 3,612 | △493 | △12.0 |
| その他 | 1,442 | 1,366 | △76 | △5.3 |
| 不動産賃貸収入 | 55 | 57 | 1 | 3.1 |
| 売上原価 | 6,809 | 6,398 | △410 | △6.0 |
| 製商品売上原価 | 6,795 | 6,386 | △408 | △6.0 |
| 不動産賃貸原価 | 14 | 11 | △2 | △15.4 |
| 売上総利益 | 7,775 | 6,899 | △876 | △11.3 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,774 | 6,154 | △620 | △9.2 |
| 販管費（研究開発費除く） | 5,296 | 5,035 | △260 | △4.9 |
| 研究開発費 | 1,478 | 1,119 | △359 | △24.3 |
| 営業利益 | 1,001 | 745 | △256 | △25.6 |
| 営業外収益 | 26 | 51 | 24 | — |
| 営業外費用 | 2 | 2 | △0 | — |
| 経常利益 | 1,025 | 794 | △231 | △22.5 |
| 特別利益 | 15 | — | △15 | — |
| 特別損失 | 3 | 0 | △2 | — |
| 税引前四半期純利益 | 1,038 | 793 | △244 | △23.6 |
| 法人税等 | 63 | 260 | 197 | — |
| 四半期純利益 | 974 | 532 | △441 | △45.3 |

(参考) 売上高に対する比率

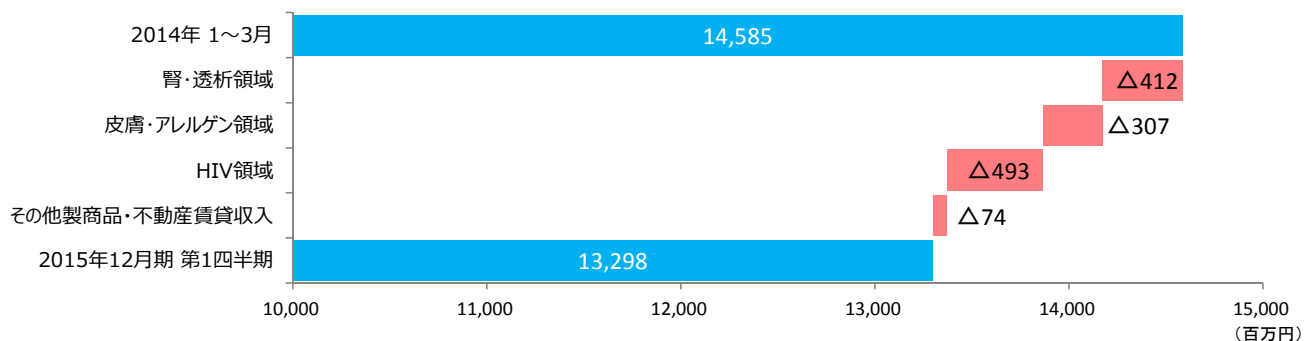
| (単位:%) | 2014年 | 2015年12月期 | 増減 |
|------------|-------|-----------|------|
| | 1～3月 | 第1四半期 | |
| | A | B | B-A |
| 売上原価 | 46.7 | 48.1 | 1.4 |
| 販売費及び一般管理費 | 46.4 | 46.3 | △0.1 |
| 研究開発費 | 10.1 | 8.4 | △1.7 |
| 営業利益 | 6.9 | 5.6 | △1.3 |
| 経常利益 | 7.0 | 6.0 | △1.0 |
| 四半期純利益 | 6.7 | 4.0 | △2.7 |

<2014年1～3月数値の計算方法>

2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月）

【対前年同一期間増減要因】

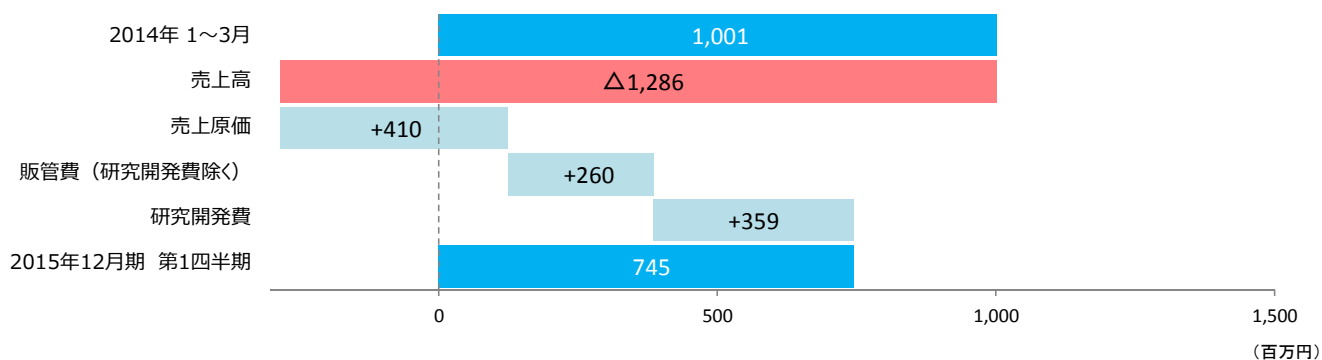
売上高（13,298百万円 対前年同一期間 △1,286百万円）



主な増減要因

| | | | | | |
|-----------------------|-----------|---------|---|----------|-----------|
| 腎・透析領域 | ：リオナ錠 | +936百万円 | 、 | レミッチカプセル | △1,148百万円 |
| | ：注射用フサン | △104百万円 | | | |
| 皮膚・アレルギー領域 | ：ドボネックス軟膏 | △177百万円 | | | |
| HIV領域 | ：ツルバダ配合錠 | △562百万円 | | | |
| ※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照 | | | | | |

営業利益（745百万円 対前年同一期間 △256百万円）



主な増減要因

| | |
|--------------|---|
| 売上原価 | ：売上高の減少（前年同一期間における消費税増税前の一時的な需要増、前年4月の薬価改定影響） |
| 販管費（研究開発費除く） | ：販売促進費の減少 |
| 研究開発費 | ：臨床試験費用の減少 |

経常利益（794百万円 対前年同一期間 △231百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（532百万円 対前年同一期間 △441百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

| (単位:百万円) | 2014年 1~3月 A | 2015年12月期 第1四半期 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|--------------------------------------|--------------------|-------------------------|------------|-----------------------|
| 製商品売上高 | 14,529 | 13,241 | △1,288 | △8.9 |
| レミッチカプセル | 4,407 | 3,258 | △1,148 | △26.1 |
| 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域] | | | | |
| ツルバダ配合錠 | 3,487 | 2,925 | △562 | △16.1 |
| 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域] | | | | |
| アンテベート ※1 | 1,606 | 1,514 | △92 | △5.7 |
| 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| リオナ錠 ※2 | — | 936 | 936 | — |
| 高リン血症治療剤 [腎・透析領域] | | | | |
| 注射用フサン ※1 | 731 | 627 | △104 | △14.3 |
| 蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域] | | | | |
| スタビルド配合錠 | 523 | 622 | 99 | 18.9 |
| 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域] | | | | |
| ビオスリー | 503 | 518 | 14 | 2.9 |
| 活性生菌製剤(整腸剤) [その他] | | | | |
| ケイキサレート ※1 | 515 | 513 | △1 | △0.3 |
| 高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域] | | | | |
| グリノーム錠 ※1 | 475 | 381 | △93 | △19.7 |
| 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域] | | | | |
| ロコイド ※1 | 326 | 331 | 5 | 1.7 |
| 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| トボネックス軟膏 | 480 | 302 | △177 | △37.0 |
| 尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| ゼフナート | 304 | 220 | △84 | △27.7 |
| 抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| マグセント | 230 | 218 | △12 | △5.2 |
| 切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他] | | | | |
| その他製商品 ※3 | 934 | 868 | △66 | △7.1 |

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 2014年10月から販売しております「シダトレン スギ花粉舌下液」は、72百万円の売上となりました。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

| (単位:百万円) | 2014年 1~3月 A | 2015年12月期 第1四半期 B | 増減 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|-----------|--------------------|-------------------------|-----------|-----------------------|
| 自社品売上高 | 4,134 | 3,871 | △263 | △6.4 |
| 自社品比率 (%) | 28.5 | 29.2 | 0.7 | — |

③ 四半期貸借対照表

| (単位:百万円) | 2014年12月期 | 2015年12月期 | 増減額 | 増減率 (%) | 構成比 (%) |
|-----------------------|-----------|------------|--------|------------|------------|
| | A | 第1四半期 B | | | |
| 流動資産 | 72,121 | 73,778 | 1,656 | 2.3 | 78.4 |
| 現金及び預金 | 6,316 | 4,499 | △1,816 | | |
| キャッシュ・マネージメント・システム預託金 | 14,978 | 12,832 | △2,145 | | |
| 受取手形及び売掛金 | 25,901 | 24,397 | △1,504 | | |
| 有価証券 | 13,209 | 18,105 | 4,896 | | |
| たな卸資産 | 10,136 | 12,061 | 1,924 | | |
| その他 | 1,579 | 1,881 | 302 | | |
| 固定資産 | 20,428 | 20,340 | △87 | △0.4 | 21.6 |
| 有形固定資産 | 5,806 | 5,798 | △7 | | |
| 無形固定資産 | 818 | 882 | 63 | | |
| 投資その他の資産 | 13,803 | 13,659 | △144 | | |
| 投資有価証券 | 7,070 | 7,158 | 88 | | |
| 長期前払費用 | 5,230 | 5,006 | △224 | | |
| その他 | 1,502 | 1,494 | △7 | | |
| 資産合計 | 92,550 | 94,119 | 1,568 | 1.7 | 100.0 |
| 流動負債 | 11,391 | 13,013 | 1,622 | 14.2 | 13.8 |
| 買掛金 | 6,095 | 7,601 | 1,505 | | |
| 未払金 | 1,795 | 2,402 | 606 | | |
| 未払法人税等 | 273 | 294 | 21 | | |
| 賞与引当金 | 694 | 1,324 | 630 | | |
| その他 | 2,534 | 1,391 | △1,142 | | |
| 固定負債 | 933 | 833 | △99 | △10.6 | 0.9 |
| 負債合計 | 12,324 | 13,847 | 1,522 | 12.4 | 14.7 |
| 株主資本 | 79,847 | 79,814 | △33 | △0.0 | 84.8 |
| 評価・換算差額等 | 377 | 457 | 79 | 21.0 | 0.5 |
| 純資産合計 | 80,225 | 80,271 | 46 | 0.1 | 85.3 |
| 負債純資産合計 | 92,550 | 94,119 | 1,568 | 1.7 | 100.0 |

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の減少による減少
- 有価証券 : 金銭信託の取得による増加、償還による減少
- たな卸資産 : 商品及び製品の増加

(流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の増加による増加

④ 設備投資の状況

| (単位:百万円) | 2014年 1～3月 A | 2015年12月期 第1四半期 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|----------|--------------------|-------------------------|------------|-----------------------|
| 設備投資額 | 211 | 426 | 214 | 101.6 |
| 有形固定資産 | 130 | 297 | 166 | 128.1 |
| 無形固定資産 | 81 | 128 | 47 | 58.9 |

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑤ 非資金項目

| (単位:百万円) | 2014年 1～3月 A | 2015年12月期 第1四半期 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|-----------|--------------------|-------------------------|------------|-----------------------|
| 減価償却費 | 293 | 339 | 46 | 15.7 |
| 長期前払費用償却費 | 217 | 229 | 12 | 5.6 |

⑥ 研究開発の状況

| 開発番号 | 予定適応症等 | 剤形等 | 開発段階 (国内) | | | | | 備考 |
|-------------------|---|-----|-----------|----------------|-----------|----|---|----|
| | | | Phase I | Phase II | Phase III | 申請 | 承認 | |
| 皮膚・アレルギー領域 | | | | | | | | |
| TO-203 | 室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬) | 舌下錠 | | | | 申請 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2015年1月26日に製造販売承認申請 | |
| | 室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬) | 舌下錠 | | Phase II / III | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 | |
| TO-206 | スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬) | 舌下錠 | | Phase II / III | | | <ul style="list-style-type: none"> ・自社開発 | |
| JTE-350 | アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤) | 注射剤 | | | | 申請 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2014年12月22日に製造販売承認申請 | |

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時（2015年2月4日）からの変更点

- ・TO-204（治療用ダニアレルギーエキス皮下注「トリイ」）は本年4月に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）
- ・TO-205（スクラッチダニアレルギーエキス「トリイ」）は本年4月に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）

Ⅲ 2015年12月期 業績予想

※2015年12月期 業績予想については、2015年2月4日「2014年12月期決算 参考資料」で発表しております
 予想数値から変更はありません。

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しておりますので、2015年
 12月期 業績予想の比較として「2014年1～12月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

① 損益計算書

| (単位:百万円) | 2014年 1～12月 A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|--------------|---------------------|------------------------|------------|-----------------------|
| 売上高 | 58,089 | 63,000 | 4,910 | 8.5 |
| 製商品売上高 | 57,864 | 62,830 | 4,965 | 8.6 |
| 腎・透析領域 | 24,437 | 27,330 | 2,892 | 11.8 |
| 皮膚・アレルギー領域 | 11,687 | 13,890 | 2,202 | 18.8 |
| HIV領域 | 15,527 | 15,540 | 12 | 0.1 |
| その他 | 6,210 | 6,070 | △140 | △2.3 |
| 不動産賃貸収入 | 225 | 170 | △55 | △24.7 |
| 売上原価 | 27,396 | 30,700 | 3,303 | 12.1 |
| 売上総利益 | 30,693 | 32,300 | 1,606 | 5.2 |
| 販売費及び一般管理費 | 25,659 | 26,800 | 1,140 | 4.4 |
| 販管費(研究開発費除く) | 20,780 | 22,270 | 1,489 | 7.2 |
| 研究開発費 | 4,878 | 4,530 | △348 | △7.1 |
| 営業利益 | 5,033 | 5,500 | 466 | 9.3 |
| 経常利益 | 5,168 | 5,600 | 431 | 8.3 |
| 当期純利益 | 3,394 | 3,500 | 105 | 3.1 |

※2015年12月期 通期予想における売上高、営業利益、当期純利益は、中期経営計画(2013年4月25日公表)
 で掲げた2015年度の経営目標から変更ありません。

(参考) 売上高に対する比率

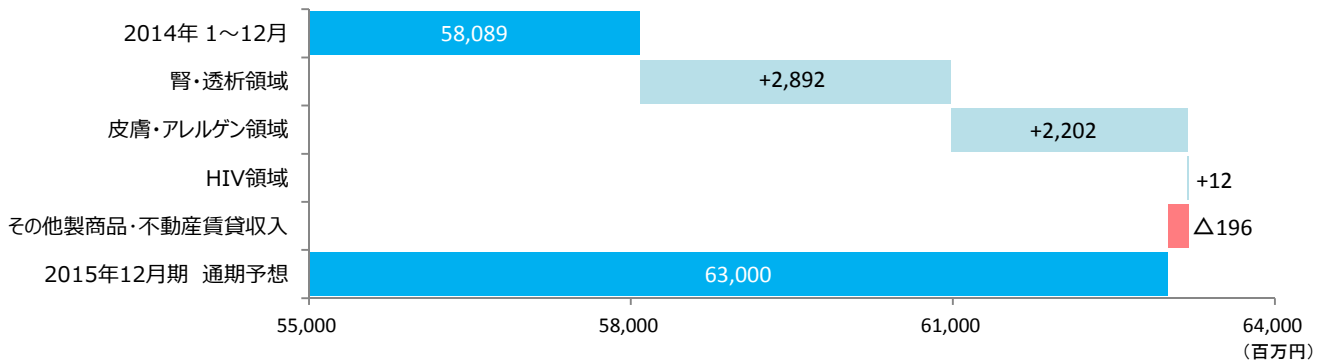
| (単位:%) | 2014年 1～12月 A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減 B-A |
|------------|---------------------|------------------------|-----------|
| 売上原価 | 47.2 | 48.7 | 1.5 |
| 販売費及び一般管理費 | 44.1 | 42.6 | △1.5 |
| 研究開発費 | 8.4 | 7.2 | △1.2 |
| 営業利益 | 8.7 | 8.7 | 0.0 |
| 経常利益 | 8.9 | 8.9 | 0.0 |
| 当期純利益 | 5.8 | 5.6 | △0.2 |

<2014年1～12月数値の計算方法>

2014年1～3月（2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月））
 + 2014年4～12月（2014年12月期実績）

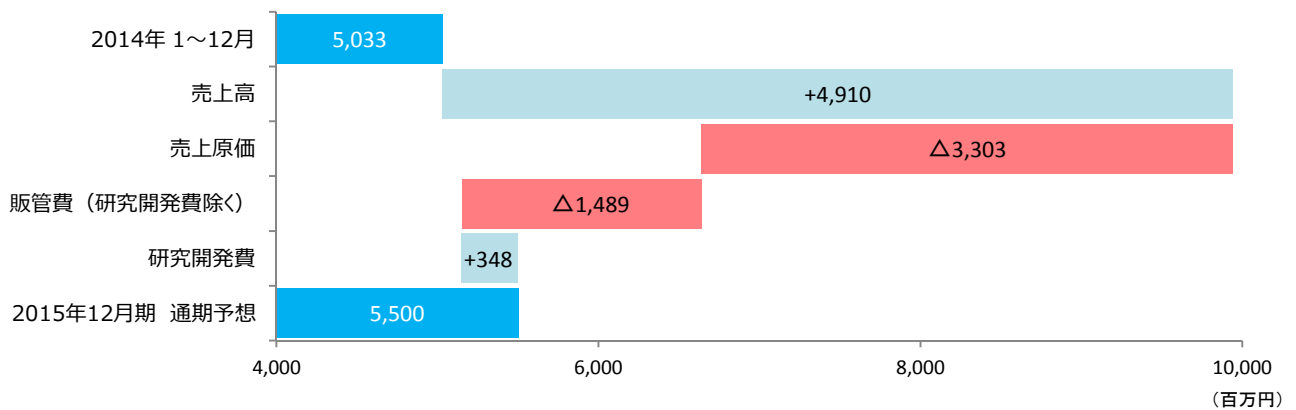
【対前年同一期間増減要因】

売上高（63,000百万円 対前年同一期間 +4,910百万円）



| 主な増減要因 | | | |
|-----------------------|-----------------|-----------|--------------------|
| 腎・透析領域 | ： リオナ錠 | +2,808百万円 | 、 レミッチカプセル +439百万円 |
| | ケイキサレート | +236百万円 | 、 注射用フサン △299百万円 |
| | ユリノーム錠 | △291百万円 | |
| 皮膚・アレルギー領域 | ： シダトレン スギ花粉舌下液 | +2,739百万円 | 、 アンテベート △287百万円 |
| HIV領域 | ： スタビルド配合錠 | +543百万円 | 、 ツルバダ配合錠 △437百万円 |
| ※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照 | | | |

営業利益（5,500百万円 対前年同一期間 +466百万円）



| 主な増減要因 | |
|--------------|----------------------|
| 売上原価 | ： 販売品目の構成変化、売上高の増加 |
| 販管費（研究開発費除く） | ： 給料及び手当の増加、販売促進費の増加 |
| 研究開発費 | ： 臨床試験費用の減少 |

経常利益（5,600百万円 対前年同一期間 +431百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,500百万円 対前年同一期間 +105百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

| (単位:百万円) | 2014年 1~12月 A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|--------------------------------------|---------------------|------------------------|------------|-----------------------|
| 製商品売上高 | 57,864 | 62,830 | 4,965 | 8.6 |
| レミッチカプセル | 14,970 | 15,410 | 439 | 2.9 |
| 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域] | | | | |
| ツルバダ配合錠 | 12,717 | 12,280 | △437 | △3.4 |
| 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域] | | | | |
| アンテベート ※1 | 6,747 | 6,460 | △287 | △4.3 |
| 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| リオナ錠 ※2 | 1,811 | 4,620 | 2,808 | 155.0 |
| 高リン血症治療剤 [腎・透析領域] | | | | |
| 注射用フサン ※1 | 3,499 | 3,200 | △299 | △8.6 |
| 蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域] | | | | |
| スタビルド配合錠 | 2,466 | 3,010 | 543 | 22.1 |
| 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域] | | | | |
| シダトレン スギ花粉舌下液 ※1、3 | 80 | 2,820 | 2,739 | - |
| スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| ケイキサレート ※1 | 2,253 | 2,490 | 236 | 10.5 |
| 高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域] | | | | |
| ビオスリー | 2,123 | 2,200 | 76 | 3.6 |
| 活性生菌製剤(整腸剤) [その他] | | | | |
| ユリノーム錠 ※1 | 1,901 | 1,610 | △291 | △15.3 |
| 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域] | | | | |
| ドボネックス軟膏 | 1,670 | 1,520 | △150 | △9.0 |
| 尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| ロコイド ※1 | 1,337 | 1,330 | △7 | △0.5 |
| 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| ゼフナート | 1,450 | 1,320 | △130 | △9.0 |
| 抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域] | | | | |
| マグセント | 1,192 | 1,260 | 67 | 5.7 |
| 切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他] | | | | |
| その他製商品 | 3,641 | 3,300 | △341 | △9.4 |

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 「シダトレン スギ花粉舌下液」は、2014年10月から販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

| (単位:百万円) | 2014年 1~12月 A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|-----------|---------------------|------------------------|-----------|-----------------------|
| 自社品売上高 | 17,657 | 19,840 | 2,182 | 12.4 |
| 自社品比率 (%) | 30.5 | 31.6 | 1.1 | - |

③ 設備投資の状況

| (単位:百万円) | 2014年 1~12月 A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|----------|---------------------|------------------------|------------|-----------------------|
| 設備投資額 | 1,726 | 2,277 | 550 | 31.9 |
| 有形固定資産 | 1,286 | 2,052 | 765 | 59.5 |
| 無形固定資産 | 440 | 225 | △215 | △48.9 |

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

| (単位:百万円) | 2014年 1月~12月 A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減額 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|-----------|----------------------|------------------------|------------|-----------------------|
| 減価償却費 | 1,218 | 1,382 | 163 | 13.5 |
| 長期前払費用償却費 | 918 | 812 | △106 | △11.6 |

⑤ 配当

| | 2014年12月期 通期(4~12月) A | 2015年12月期 通期予想 B | 増減 B-A | 増減率 (%) (B-A)/A |
|--------------|-----------------------------|------------------------|-----------|-----------------------|
| 1株当たり配当金 (円) | 40 | 48 | 8 | 20.0 |
| 配当性向 (%) | 46.8 | 38.8 | - | - |

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起